

未処分廃プラスチックの再生利用に向け ミャンマーで事業可能性調査

国際協力機構（JICA）は、「中小企業海外展開支援事業～基礎調査～」において株式会社エムエスケイ（静岡県浜松市、橋本茂樹代表取締役）が提案する「ヤンゴン市から排出される廃プラスチック還元剤利用の事業計画策定に関する基礎調査」（ミャンマー）を採択しました。

ミャンマーのヤンゴン市では、大量の廃プラスチックが未処理のまま処分場の敷地に持ち込まれ、分解しないため残存し、処分場の許容量を圧迫しています。また、廃プラスチックからの発火リスクも懸念されるため、適正な処分もしくは再生利用手段の導入を緊急課題としています。この問題に対し、株式会社エムエスケイは、未処分廃プラスチックを選別・加工して製鉄所向け高炉還元剤として販売する事業計画の策定に係る調査を実施します。



高炉還元剤



収集された未処分廃プラスチック

なお、本調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～基礎調査～（注）」として実施され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

（注）基礎調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行うもの。企業は、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を行う。2012 年度から実施されており、2017 年度第 2 回分は今年 9 月に公示を行い、12 件が採択。

【参考：（プレスリリース）基礎調査 2017 年度第 2 回公示の採択結果について】

https://www.jica.go.jp/press/2017/20171226_01.html

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 中部 市民参加協力課 前島、吉田、谷口
 TEL:052-533-1387 FAX:052-564-3751
 E-mail: jicacbic-psp@jica.go.jp

日本の真ん中から世界へ
 JICA 中部

<https://www.jica.go.jp/chubu/index.html>